

カムインズエンジン搭載車 尿素SCRシステムの取り扱いについて

尿素SCRシステムは排気ガス中の窒素酸化物（NOx）にAdBlue（尿素水）を噴射することで窒素と水に分解し、排気ガスを浄化します。このシステムは排気ガス浄化能力を適正に保つため定期的な自動クリーニング（触媒昇温）を行います。しかし、発進と停止の繰り返しや連続して低速走行をすると自動クリーニングが完了しないことがあります。自動クリーニングが完了しなかったときは クリーニング表示灯が点灯しますので安全な場所に停車し、手動クリーニングをしてください。なおエンジン停止後、システム内のAdBlueをタンクに戻すためポンプの駆動音が90秒ほど聞こえることがありますが故障ではありません。

警告

クリーニング中は排気ガスが高温になっています。次のことを守ってください。

- ・排気管やマフラー付近から燃えやすい物を取り除いてください。火災の恐れがあります。
- ・排気管やマフラー付近および排気ガスには触れないでください。重大なやけどの恐れがあります。

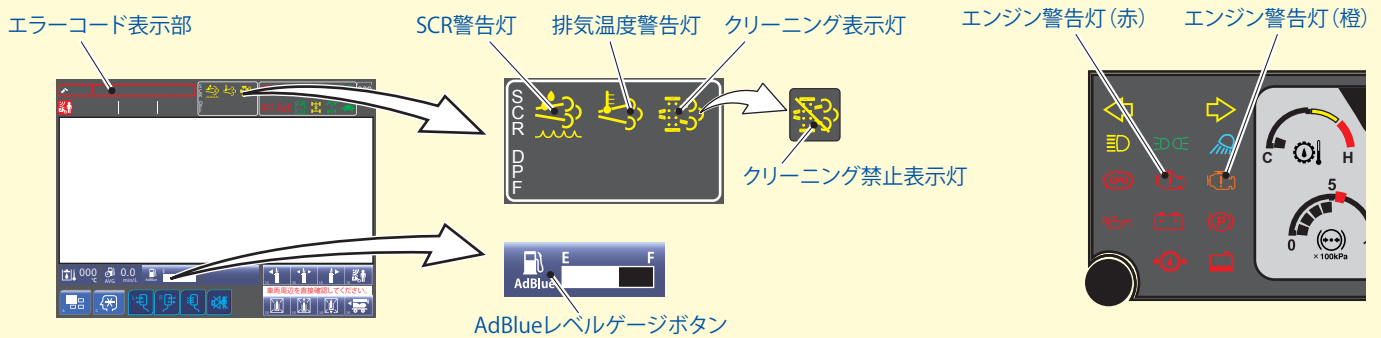


排気温度警告灯が点灯しているときは、排気ガス温度が特に高くなっているため、周囲環境に細心の配慮をお願いします。



クリーニング禁止ボタンを操作することで一時的に自動クリーニング、および手動クリーニングを禁止することができます。クリーニング禁止中は クリーニング禁止表示灯が点灯します。

1 インジケータについて



AdBlueの量が低下したとき

AdBlueレベルゲージボタンのバーグラフが少なくなり、 SCR警告灯が点灯したときはAdBlueの量が低下しています。AdBlueを補給してください。

※ AdBlueの残量が2.5%以下になると、 エンジン警告灯（橙）が点灯します。

SCR警告灯、エンジン警告灯が点灯したとき

SCR警告灯と エンジン警告灯（橙）が点灯したときはAdBlueの品質に異常がある、または尿素SCRシステムに異常が発生しています。

※ AdBlueの品質異常時はエラーコード表示部に「EA 3364」が表示されます。エンジンを停止し90秒間待った後に、適正なAdBlueに全量交換してください。AdBlueの交換後、警告灯が消灯するまでにエンジン始動から約5分かかります。

※ AdBlueの全量交換後もエラーコードが消えないとき、エラーコード表示部に「EA 3364」以外が表示されるときは尿素SCRシステムの異常です、タダノ指定サービス工場に連絡してください。

クリーニング表示灯が点灯したとき

クリーニング表示灯が点灯したときは尿素SCRシステムのクリーニングが必要です。裏面を参照して手動クリーニングをしてください。

そのまま放置すると

エンジンの出力が段階的に低下します。さらにそのまま放置すると、**アイドリング回転に固定**されます。

また、表示灯がつぎの状態になります。

- ・ SCR警告灯が点滅する
- ・ エンジン警告灯（橙）が点灯する
- ・ エンジン警告灯（赤）が点灯する

AdBlue® はドイツ自動車工業会（VDA）の登録商標です。

機械を使用する前にお読みください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

カムインズエンジン搭載車 尿素SCRシステムの取り扱いについて

2 手動クリーニングのしかた (クリーニング表示灯が点灯しているときのみ、手動クリーニングが可能です。)

1 安全な場所に、車両を停車させてください。
 クリーニング中は排気ガスが高温になります。
 排気管やマフラー付近に燃えやすい物が無いか確認してください。

2 以下の状態にします。

- ・パーキングブレーキスイッチ：「PARK」
- ・シフトスイッチ：「N」
- ・PTOスイッチ：「OFF」
- ・アクセルペダルから足を離す
- ・操作レバースタンド：格納位置

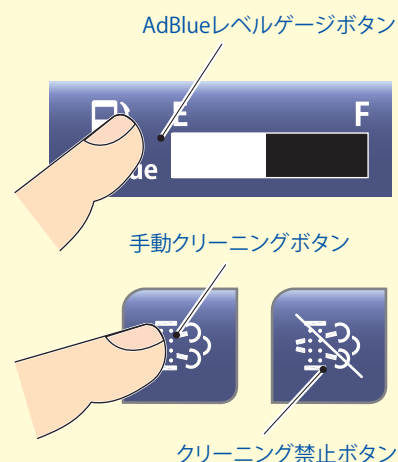
※水温が低い場合は暖気運転を行ってください。

3 AdBlueレベルゲージボタンをタッチします。

4 手動クリーニングボタンをタッチします。

5 エンジン回転数が1000min⁻¹{rpm}に上がり、手動クリーニングが始まります。
 手動クリーニング時間は約20～60分程度です。
 クリーニング中は、排気温度警告灯が点灯し、クリーニング表示灯が点滅します。
 排気温度警告灯が消灯したら手動クリーニング完了です。

クリーニング中にアクセルペダルを踏むとクリーニングが停止します。



注意 クリーニングを行わずに走行・作業を続けると、エンジン警告灯が点灯するとともにエンジン出力が低下します。エンジン警告灯が点灯したまま走行・作業を続けると、エンジンの故障につながりますので、すみやかにタダノ指定サービス工場に連絡してください。

3 AdBlueについて

JIS K 2247-1、ISO 22241-1のいずれかの規格に適合したAdBlueを補給してください。
 AdBlue以外のもの（燃料や水など）を補給すると、排気ガスが正しく浄化できないだけでなく、エンジンの故障の原因になります。

4 エンジンオイルについて

JASO規格DH-2以上のエンジンオイルを使用してください。
 規格以外のエンジンオイルを使用すると、尿素SCRシステムおよびエンジンの故障の原因となります。
 エンジンオイルの銘柄については、エンジン取扱説明書を参照してください。

5 燃料について

この機械はJIS K 2204 超低硫黄軽油(硫黄分が10ppm以下の軽油)専用です。
 規格以外の燃料を使用すると、尿素SCRシステムおよびエンジンの故障の原因となります。

機械を使用する前にお読みください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。